

高次脳機能障がい “シナプス” ニュースレター

第23号 令和3年3月

こんにちは

本日は“シナプス”をお開き下さりありがとうございます。

コロナウイルスに影響された今年度でしたが新たな年度を迎えようとしている今、

ワクチン接種が始まりオリンピック・パラリンピックなどの話題が上るようになり、

自粛の緩和に期待を寄せられる気がします。

本ニュースレターでは令和2年度後期の高次脳機能障がい支援にかかわる出来事を

お届けしたいと思います。

今春も当館駐車場の“桜”は満開です！

講演会

令和2年11月8日

「高次脳機能障がい市民公開講座」 宮崎大学医学部附属病院主催

1. 高次脳機能障がいのある人の支援

講師：つくば児童発達支援センター・副理事長 森悦子先生

2. 高次脳機能障がいのある方が働くために必要なこと

講師：横浜総合リハビリテーションセンター

リハビリテーション科・センター長 高岡徹先生

講演では高次脳機能障がいの症状、リハビリテーション(要素的訓練、代償的アプローチ)、就労支援の実際などお話しいただきました。

令和2年12月7日

「Webによる高次脳機能障がい講演会」 宮崎県医師会（県委託事業）

1. 社会的行動障害を中心に

講師：神奈川リハビリテーション病院リハビリテーション部 部長 青木重陽先生

講演では包括的全人的な神経心理学的リハビリテーションの発展の過程や自院で実施されているリハビリテーションについてお話しいただきました。

令和3年3月14日

「高次脳機能障がいWeb研修会」 宮崎県身体障害者相談センター主催

1. 高次脳機能障害 特に、社会的行動障害への対応

講師：東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科

診療部長 教授 渡邊修先生

講演では社会的行動障害の対応の1つ、環境調整/周囲の対応について、「わかりやすい声かけ・支持的な声かけを心がける」として、例えば ・ミスしないようにね→落ち着いて2回見直してね ・大声を出すと嫌われるよ→いつもにこにこ笑顔だと好かれるよ ・がんばれ→がんばっているね など。

「動機づけを促す対話」については、①相手の言葉を繰り返す ②考え方、長所を認める発言を心がける ③開かれた質問を心がける(どうしたらいいと思う?) ④相談内容を要約するなどお話しいただきました。日常的に心がけたい事です。

その他、社会的行動障害のある方の事例を通して、対応を具体的に示していただき、グループ療法の効果や認知行動療法について教えていただきました。

参加者の方々からは「わかりやすく勉強になった」とのご意見が多く寄せられました。

今後も研修会は開催していきます。多くの方のご参加をお待ちいたします。

問い合わせ：県身体障害者相談センター 0985-29-2556

家族会

後期、家族会は12月・1月を除き開会されました。2月定例会では「福祉サービスについて」講師：宮崎市障がい福祉課 黒木将貴主査に出前講座をしていただき意見交換をしました。

広報活動

計画した関係機関への訪問は叶いませんでしたが、言語聴覚士会主催の研修や宮崎大学医学部附属病院企画の支援者ネットワーク交流会で、テーマ「センターにおける高次脳機能障がい支援の現状」をお伝えできました。

会議

12月・2月「高次脳機能障害支援に関する九州ブロック会議・全国会議・支援コーディネーター会議」がWeb方式でありました。会議では、新型コロナウイルス感染予防のための訓練自粛による障害重症化の現状、面会制限による準備不足での退院の現状、その結果として地域支援開始までの空白時間で生じる問題などの情報提供や、対策として、広い訓練室の確保、リモートでの言語聴覚訓練の試み、専門看護師による相談支援の導入など報告があり、意見交換をしました。

支援コーディネーター会議における研修では、テーマ「コミュニケーションの支援」講師：帝京平成大学言語聴覚学科 廣實真弓先生の講演があり、認知コミュニケーション障害支援の視点を教えていただき「CCCABIチェックリスト日本語版」(無料ダウンロード可)の紹介を受けました。

2月「みやざき障害者就業・生活支援センター関連機関の会議」は対面方式で開催、主催のセンターの活動報告や、ヤマエ久野株式会社 須山史朗課長からテーマ「精神障害者雇用の現状」として雇用管理上のお話を雇用者側の配慮を含めお聴きしました。

<後書>

3月14日の主催研修は初めてのWeb開催でした。参加者の中にも初めて方がおられましたが大きな混乱なく接続状態もよく無事終了、今後もWebでの研修希望が多数でした。ただ、集合研修では参加者の方々の間で「久しぶり！」「最近どう？」など再会を喜び情報交換ができるなど、一部には集合研修希望のご意見もあり課題とさせていただきたいと思います。

春を迎えるこの季節、日本の“四季”の素晴らしさや“白夜”“極夜”のない良さを最も感じる季節となりました。

(高次脳機能障害支援コーディネーター 黒木和代)